

学校一礼

～自分を・人を・場を

『考える子』～

2月の正門掲示板



2月の正門掲示板には、担任の島田先生と3年生の子どもたちで作った「いくらかるた」がにぎやかに並んでいます。3年生は社会科や総合的な学習の時間で、「自分たちの住む町」について学習します。その学びの成果を、絵札と読み札に仕上げました。

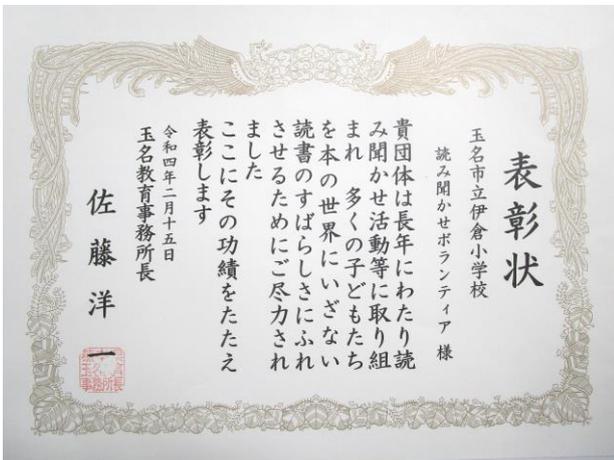
「バテレン坂 一人で歩いたら 可愛い」
「じごく坂 登りは大変 でも楽しい」

このように、伊倉の名所、旧跡等が子どもたちの感覚も交えて楽しく紹介されています。

感謝を伝える時

私は日頃から、伊倉小は本当に「地域に支えられた学校」だと思っています。コロナ禍ということで以前のようにはできない状況にある取組もありますが、学びの支援、見守り等が続けられています。

そんな活動の中の一つに「読み聞かせボランティア」があります。



本校の読み聞かせは、月2回金曜日の朝、地域の方と保護者の2グループで交互に行って

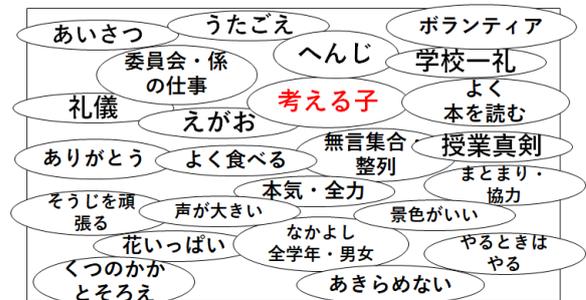
いただいています。この取組が評価され、上のように表彰を受けました。ボランティアの皆様、おめでとうございます。そして、ありがとうございます。

3月が目の前に迫ってきました。これからは、「今年度最後の〇〇」という場面が多く見られることとなります。そういうことで、私は3月を「感謝を伝える時」だと捉えています。支えていただいた方々へ、在校生は6年生へ、6年生は在校生や保護者へ等々、その後も関係性は続くとしても、この節目には改めて「感謝」を伝えることを大事にしてほしいと思います。

2月の全校集会

2月16日(水)、全校集会をリモートで行いました。今年度最後の全校集会でした。

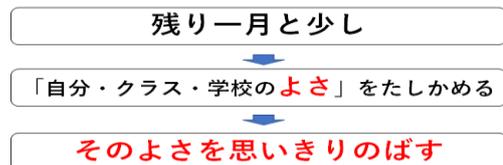
まずは、6年生が考えてくれた「伊倉小の良さ」を下のように示しました。



「伊倉小の良さを考えてほしい。」と頼んだところ、出ることも出ることも。上の数倍の数の「良さ」が挙がってきました。中には、ここに載せられない、笑う意見もたくさん出てきました。

このことを踏まえて、全学年の児童に次のことを伝えました。

今年度最後の「全校集会」



個人として、集団として伸びる道筋は大きく二つあります。一つは「欠点や短所を見つめ、改善してく」道筋で、もう一つは「良さや強み、長所を確かめ、伸ばす」道筋です。どちらも大切な捉え方ですが、年度末のこの時期、子どもたちに意識してほしいこととして後者を選びました。6年生の廊下にはカウントダウンカレンダーが掲示されています。すべての子どもたちに、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

※熊本県に出されているまん延防止重点措置の期間が3週間延長されたことを受けて、やむを得ず授業参観・学級懇談・PTA総会を中止することとしました。保護者の皆様に直接感謝を述べる機会も無くなってしまいました。私の思いはPTA新聞に掲載していただくことで、お礼に代えさせていただきます。

